



JPX-NIKKEI 400

オルガノ株式会社

2025年3月期 上期決算説明会資料

(証券コード : 6368)

2024年11月5日



オルガノ株式会社

目次

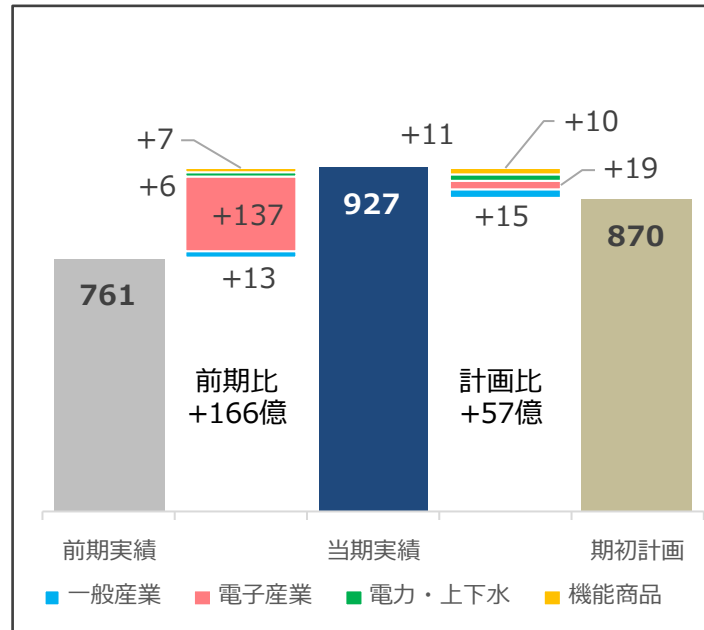
1. 2025年3月期 上期実績
2. 2025年3月期 通期見込
3. TOPICS
4. 当社の概要・事業のご紹介

※資料中の数値は表示単位以下切り捨て、パーセンテージ及び前期・計画比較等は表示単位で計算。またパーセンテージは小数点第二位を四捨五入

25.3期 上期実績：受注高・売上高・営業利益の概況

(単位：億円)

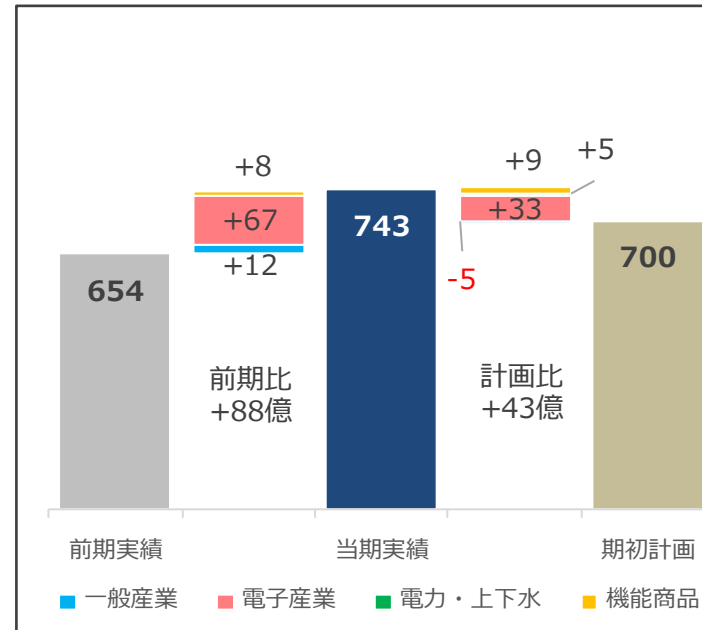
受注高分析



【受注高】

前期比では電子産業分野において、台湾・中国など海外での大型案件受注が拡大。計画比では、電子産業分野で国内の大型案件が想定より受注時期が後ろ倒しとなった影響を、海外案件の伸長がカバー、一般産業や電力上下水、機能商品も好調に推移。

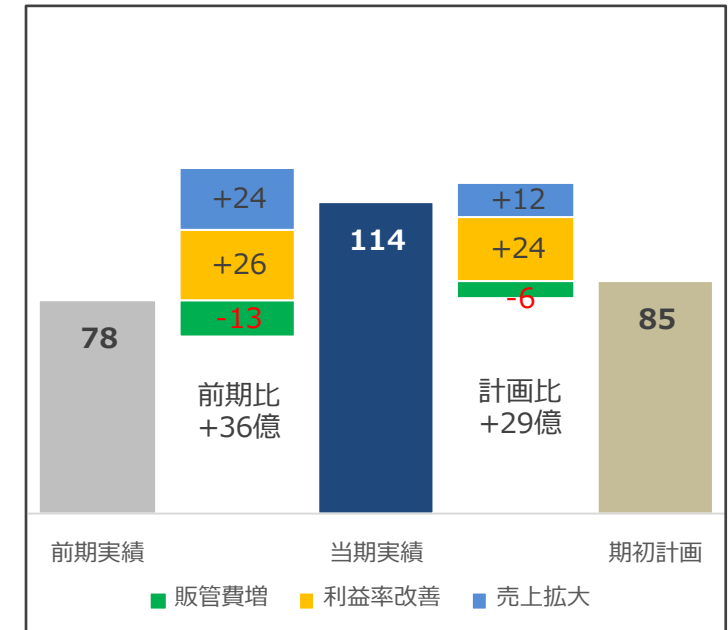
売上高分析



【売上高】

前期比では電子産業分野でプラント・ソリューションとも伸長、一般産業や機能商品も好調。計画比では電子産業・一般産業ともプラント売上が想定より進捗下回るも、ソリューションが伸長。機能商品も好調に推移。

営業利益分析



【営業利益】

前期比では売上拡大効果に加え、プラントの採算性改善やソリューション・機能商品拡大などで利益率が改善し、人件費など販管費の増加をカバー。計画比ではプラント・ソリューションともに利益率が想定以上に改善。

25.3期 上期実績：連結損益計算書

(単位：百万円)	24年3月期 上期実績	25年3月期		前年 同期比	期初 計画比
		上期計画	上期実績		
受注高	76,150	87,000	92,755	+16,605 (+21.8%)	+5,755 (+6.6%)
売上高	65,469	70,000	74,323	+8,854 (+13.5%)	+4,323 (6.2%)
売上総利益	18,129	19,500	23,143	+5,014 (+27.7%)	+3,643 (+18.7%)
(%)	27.7%	27.9%	31.1%	+3.4pt	+3.2pt
販管費	10,274	11,000	11,663	+1,389 (+13.5%)	+663 (+6.0%)
営業利益	7,855	8,500	11,480	+3,625 (+46.1%)	+2,980 (+35.1%)
(%)	12.0%	12.1%	15.4%	+3.4pt	+3.3pt
親会社株主に帰属する 中間純利益	5,538	5,500	8,134	+2,596 (+46.9%)	+2,634 (+47.9%)

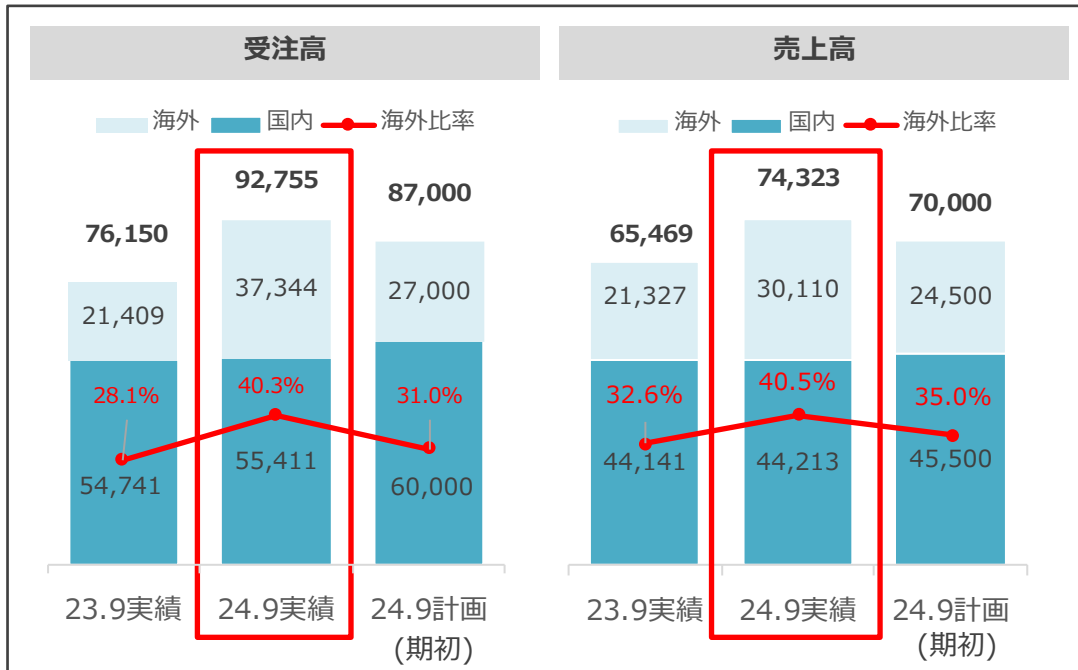
25.3期 上期実績：セグメント別実績

(単位：百万円)		24年3月期 上期実績	上期計画	25年3月期 前回見込 (2024.7.31)	上期実績	前年 同期比	期初 計画比	前回 見込比
全社	受注高	76,150	87,000	90,000	92,755	+16,605 (+21.8%)	+5,755 (+6.6%)	+2,755 (+3.1%)
	売上高	65,469	70,000	73,000	74,323	+8,854 (+13.5%)	+4,323 (+6.2%)	+1,323 (+1.8%)
	営業利益	7,855	8,500	9,500	11,480	+3,625 (+46.1%)	+2,980 (+35.1%)	+1,980 (+20.8%)
	(%)	12.0%	12.1%	13.0%	15.4%	+3.4pt	+3.3pt	+2.4pt
水 工 シ	受注高	64,324	75,500	78,000	80,166	+15,842 (+24.6%)	+4,666 (+6.2%)	+2,166 (+2.8%)
	売上高	53,890	58,500	61,000	61,885	+7,995 (+14.8%)	+3,385 (+5.8%)	+885 (+1.5%)
	営業利益	6,448	7,100	8,000	9,802	+3,354 (+52.0%)	+2,702 (+38.1%)	+1,802 (+22.5%)
	(%)	12.0%	12.1%	13.1%	15.8%	+3.8pt	+3.7pt	+2.7pt
機 能 商 品	受注高	11,825	11,500	12,000	12,589	+764 (+6.5%)	+1,089 (+9.5%)	+589 (+4.9%)
	売上高	11,579	11,500	12,000	12,437	+858 (+7.4%)	+937 (+8.1%)	+437 (+3.6%)
	営業利益	1,406	1,400	1,500	1,677	+271 (+19.3%)	+277 (+19.8%)	+177 (+11.8%)
	(%)	12.1%	12.2%	12.5%	13.5%	+1.4pt	+1.3pt	+1.0pt

25.3期 上期実績：地域別受注高・売上高

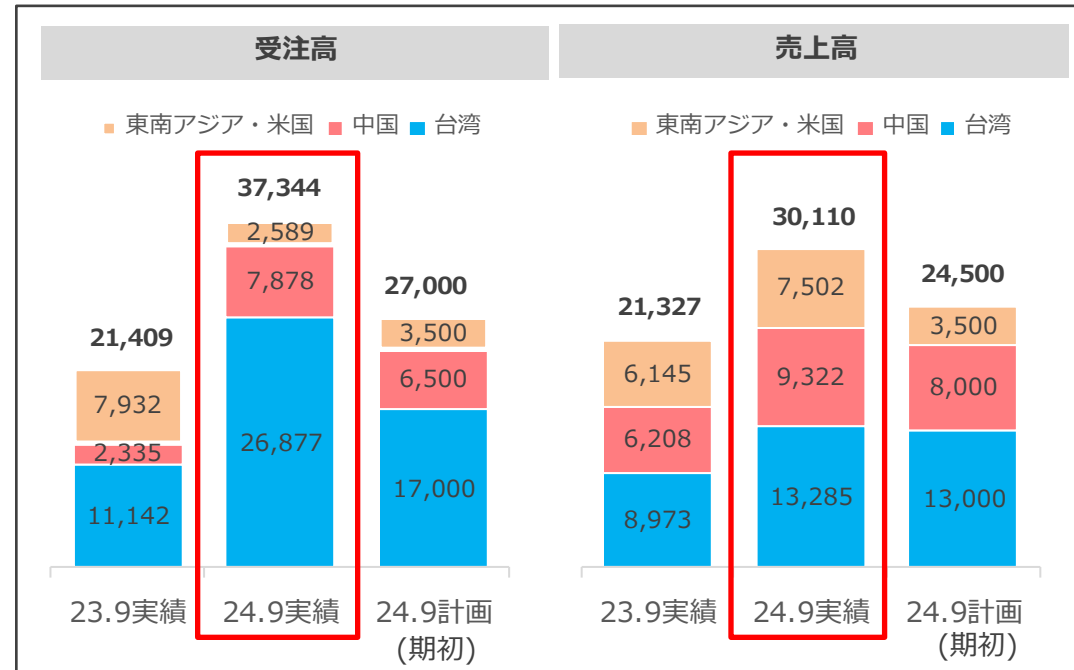
(単位：百万円)

地域別受注高・売上高



- 受注高は前期比、計画比ともに台湾や中国など海外が拡大。国内は大型案件の後ろ倒しが影響も、依然高水準を継続。
- 売上高も前期比、計画比ともに大型案件の工事進捗など海外での伸長が寄与。国内はプラントの進捗が想定下回るもソリューションなど好調。

海外地域別受注高・売上高

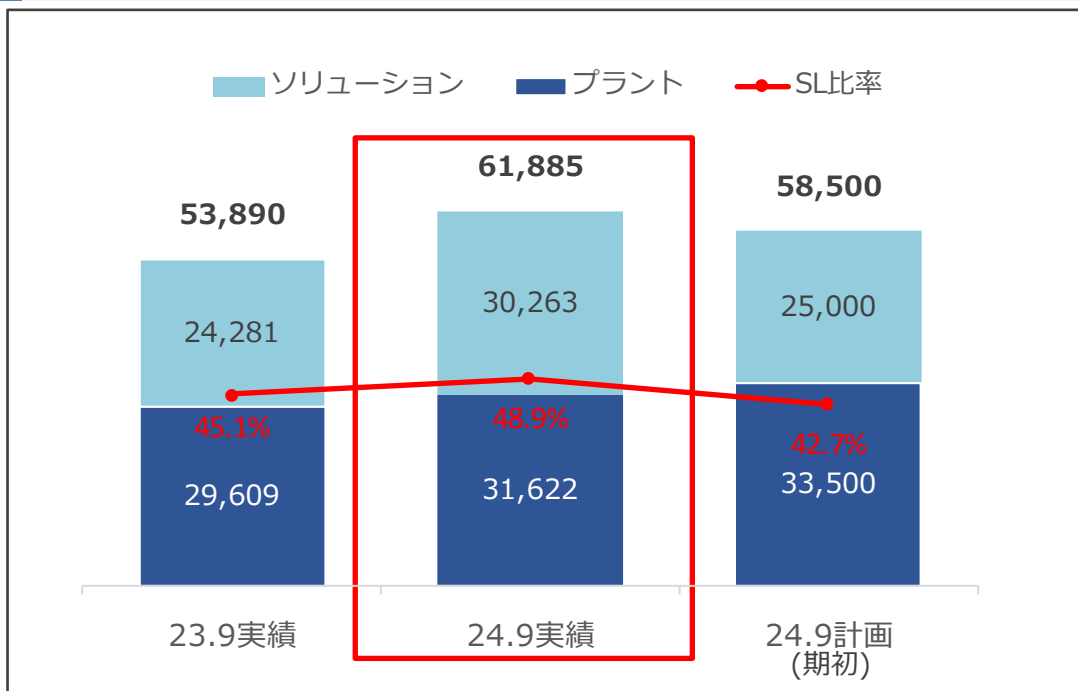


- 受注高は台湾において最先端半導体向けの大型投資や、中国の大型半導体プロジェクトを受注し大幅拡大
- 売上高は台湾・中国などで受注したプラント案件の売上等により前期比・計画比で伸長。東南アジアではプラント案件の工事等が想定より進捗。

25.3期 上期実績：事業セグメント別・部門別売上高

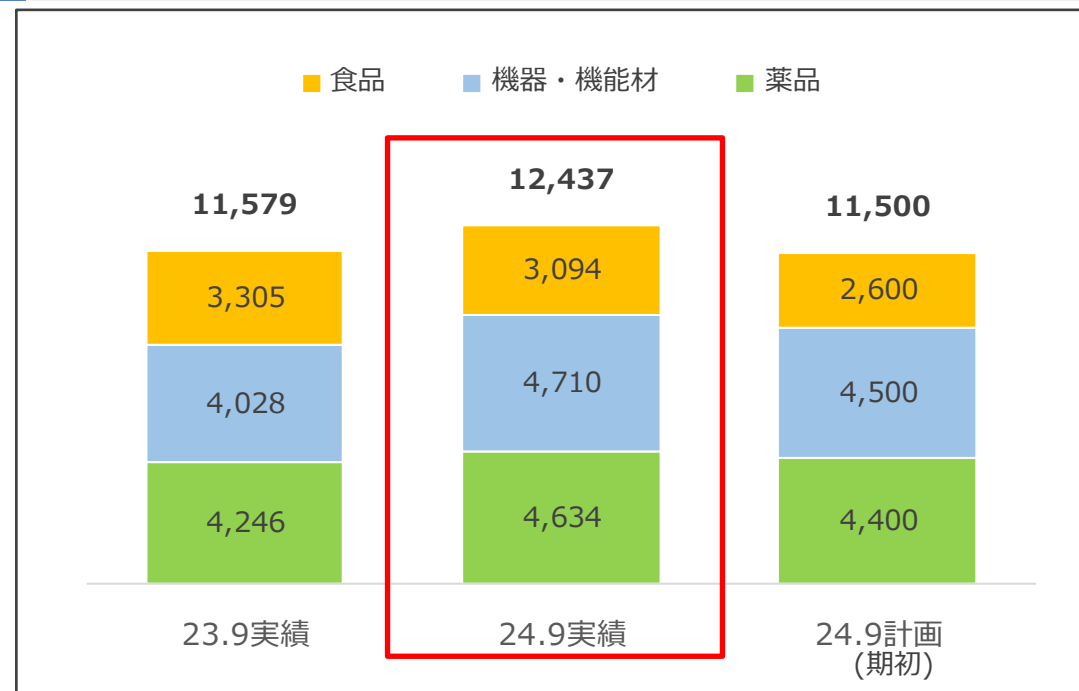
(単位：百万円)

水エンジ事業：部門別売上高



- プラントは国内で想定より進捗が下回ったものの、海外は好調に推移、引き続き高い水準の売上を継続
- ソリューションは設備保有型サービスの伸長や、メンテナンスや改造案件の増加などが寄与

機能商品事業：部門別売上高



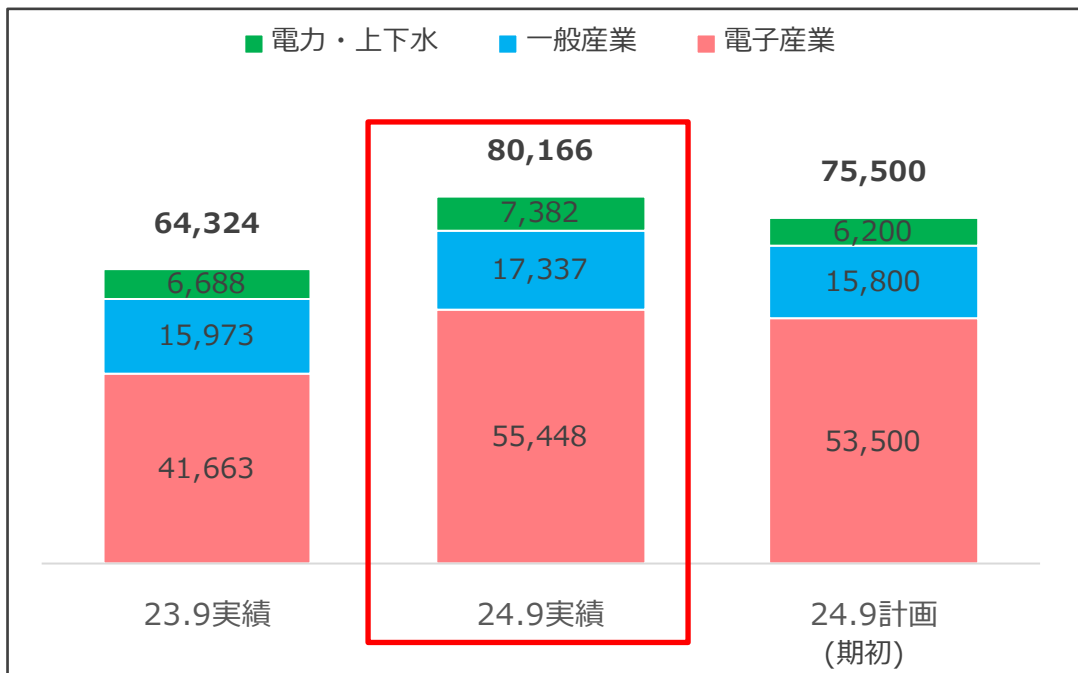
- 電子産業分野向けのRO膜処理剤や排水処理剤などの水処理薬品、半導体製造に用いられる薬液・溶媒など電子材料の高度分離・精製に用いられる機能材などの販売が好調に推移。

※従来水エンジ事業：ソリューション部門に集計されていた分離精製事業を機能商品事業：機器・機能材分野に集計、グラフは組替後

25.3期 上期実績：市場別受注高・売上高（水エンジニアリング事業）

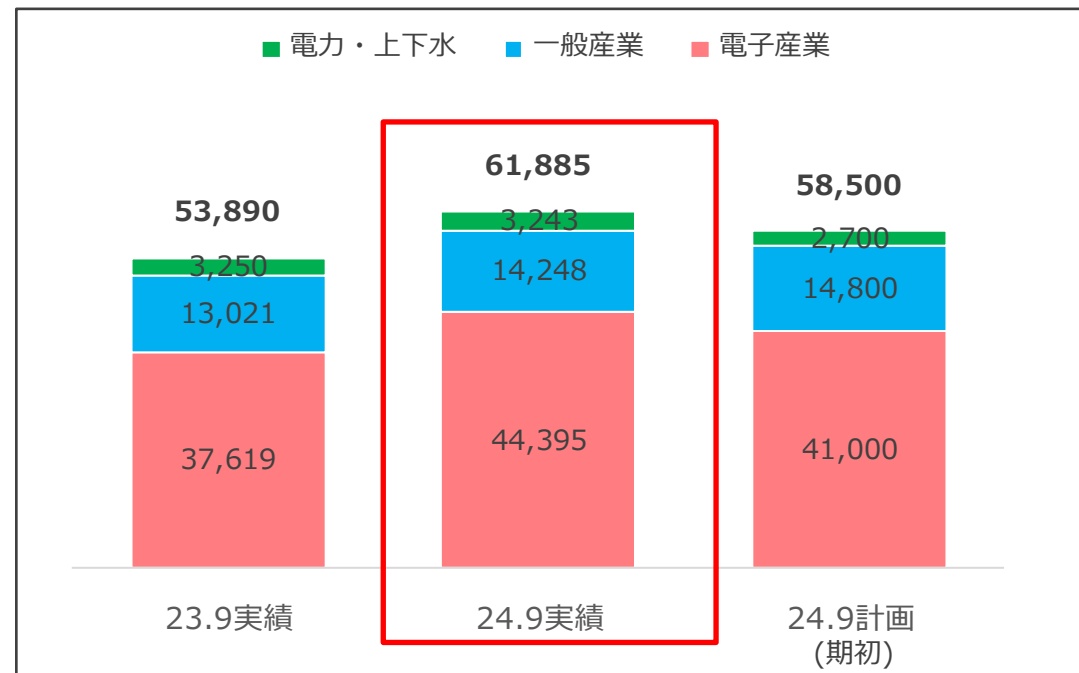
（単位：百万円）

市場別受注高（水エンジニアリング事業）



- 電子産業分野は台湾や中国での大型プロジェクト受注で伸長、国内では設備保有型契約などソリューション好調
- 一般産業分野はハイパーカミオカンデ向けの超純水設備や、電子周辺の案件など受注。電力・上下水分野は発電所の設備更新案件などを受注

市場別売上高（水エンジニアリング事業）



- 電子産業分野は海外でのプラント案件の工事進捗や、国内でのソリューション拡大など中心に伸長
- 一般産業分野は医薬・電子周辺などのプラント・ソリューション、社会インフラ分野は電力向けなど堅調に推移

目次

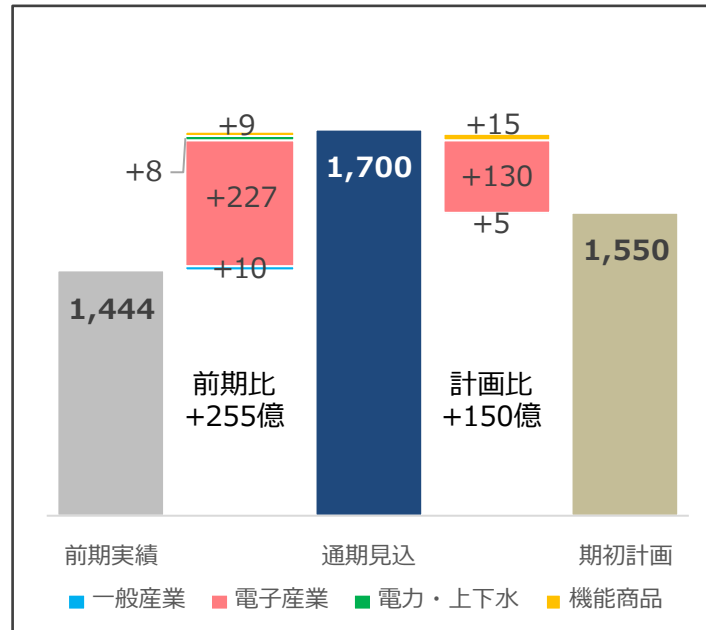
1. 2025年3月期 上期実績
2. 2025年3月期 通期見込
3. TOPICS
4. 当社の概要・事業のご紹介

※資料中の数値は表示単位以下切り捨て、パーセンテージ及び前期・計画比較等は表示単位で計算。またパーセンテージは小数点第二位を四捨五入

25.3期 通期見込：受注高・売上高・営業利益の概況

(単位：億円)

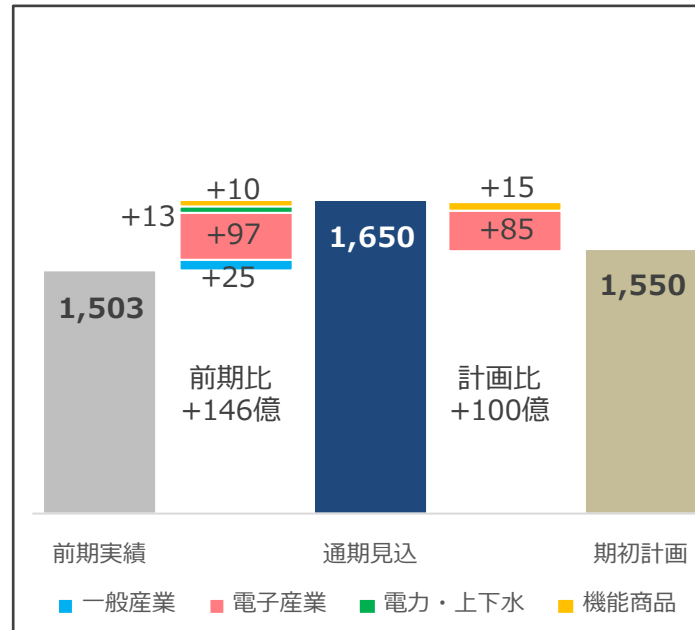
受注高分析



【受注高】

前期比・計画比とも、電子産業分野で台湾や中国などで大型案件の受注が伸長、国内中心にソリューションも拡大する見通し。一般産業や電力上下水はほぼ期初計画並、機能商品は水処理薬品や機能材など好調。

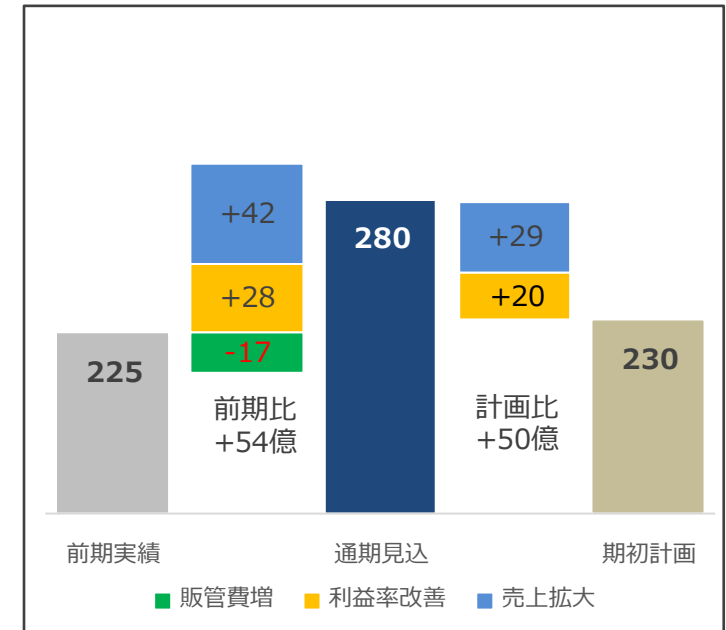
売上高分析



【売上高】

前期比・計画比とも、電子産業分野が伸長。国内外で受注残案件の順調な工事進捗や好調なソリューションなど拡大を見込む。一般産業や電力上下水、機能商品のなども堅調な推移を想定。

営業利益分析



【営業利益】

前期比・計画比とも、電子産業などプラント・ソリューションの売上拡大効果を見込む。利益率改善はプラントの受注採算性改善やソリューション・機能商品など収益性の高い商品・サービスの拡大を見込むことによる。販管費は期初計画並を想定。

25.3期 通期見込：連結損益計算書

(単位：百万円)	24年3月期 通期実績	25年3月期		前期比	期初 計画比
		期初計画	今回見込		
受注高	144,468	155,000	170,000	+25,532 (+17.7%)	+15,000 (+9.7%)
売上高	150,356	155,000	165,000	14,644 (+9.7%)	+10,000 (+6.5%)
売上総利益	43,841	46,000	51,000	+7,159 (+16.3%)	+5,000 (+10.9%)
(%)	29.2%	29.7%	30.9%	+1.7pt	+1.2pt
販管費	21,297	23,000	23,000	+1,703 (+8.0%)	0 (0.0%)
営業利益	22,544	23,000	28,000	5,456 (+24.2%)	+5,000 (+21.7%)
(%)	15.0%	14.8%	17.0%	+2.0pt	+2.2pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	17,310	16,100	21,500	+4,190 (+24.2%)	+5,400 (+33.5%)
ROE(%)	18.4%	15.0%	19.6%	+1.2pt	+4.6pt

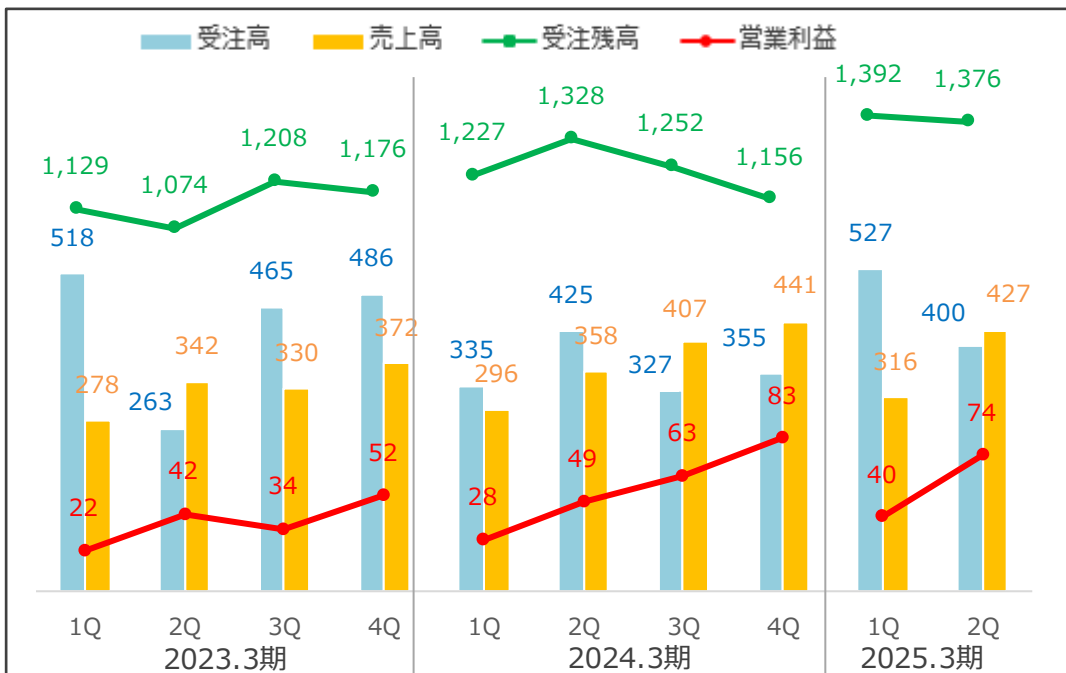
25.3期 通期見込：セグメント別実績

(単位：百万円)		24年3月期 通期実績	25年3月期 期初計画	25年3月期 前回見込 (2024.7.31)	今回見込	前期比	期初 計画比	前回 見込比
全社	受注高	144,468	155,000	165,000	170,000	+25,532 (+17.7%)	+15,000 (+9.7%)	+5,000 (+3.0%)
	売上高	150,356	155,000	160,000	165,000	+14,644 (+9.7%)	+10,000 (+6.5%)	+5,000 (+3.1%)
	営業利益	22,544	23,000	24,500	28,000	+5,456 (+24.2%)	+5,000 (+21.7%)	+3,500 (+14.3%)
	(%)	15.0%	14.8%	15.3%	17.0%	+2.0pt	+2.2pt	+1.7pt
水 工 シ	受注高	120,420	131,500	141,000	145,000	+24,580 (+20.4%)	+13,500 (+10.3%)	+4,000 (+2.8%)
	売上高	126,393	131,500	136,000	140,000	+13,607 (+10.8%)	+8,500 (+6.5%)	+4,000 (+2.9%)
	営業利益	19,111	19,600	20,900	24,400	+5,289 (+27.7%)	+4,800 (+24.5%)	+3,500 (+16.7%)
	(%)	15.1%	14.9%	15.4%	17.4%	+2.3pt	+2.5pt	+2.0pt
機 能 商 品	受注高	24,048	23,500	24,000	25,000	+952 (+4.0%)	1,500 (+6.4%)	+1,000 (+4.2%)
	売上高	23,962	23,500	24,000	25,000	+1,038 (+4.3%)	+1,500 (+6.4%)	+1,000 (+4.2%)
	営業利益	3,433	3,400	3,600	3,600	+167 (+4.9%)	+200 (+5.9%)	0 (0.0%)
	(%)	14.3%	14.5%	15.0%	14.4%	+0.1pt	-0.1pt	-0.6pt

25.3期 通期見込：業績・見込の推移（四半期・年間）

(単位：億円)

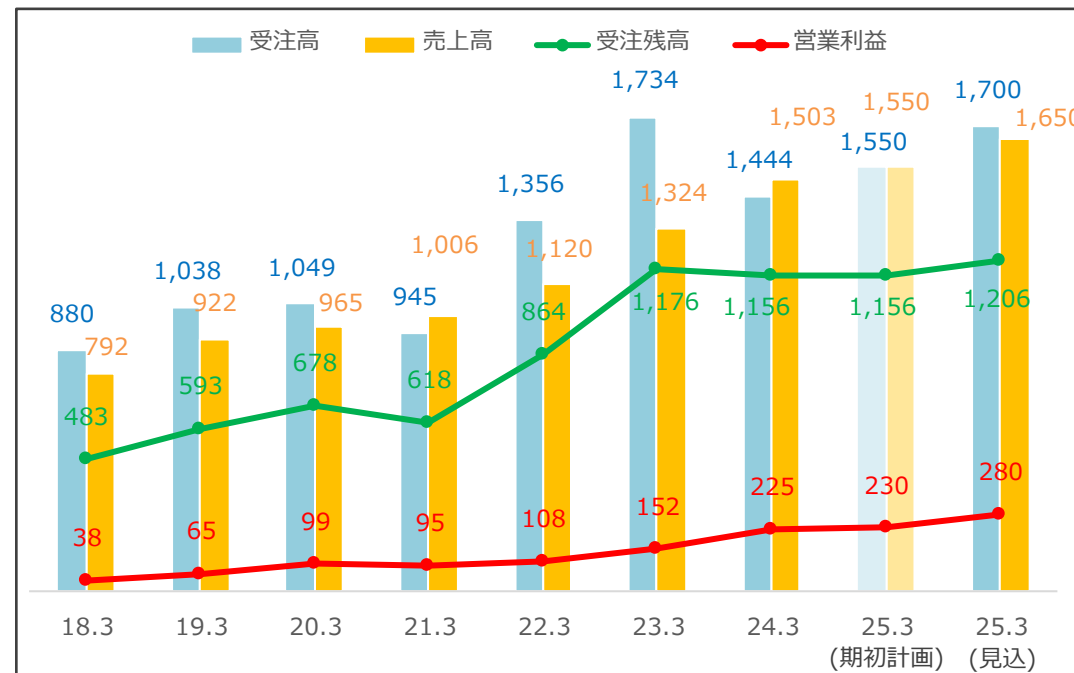
四半期間業績の推移



【四半期業績の推移】

受注高は大型プロジェクトの発注時期に影響。売上高は工事の進捗に応じて計上されるが、期末納期の案件も多く、3月末に向かって緩やかに増加する傾向。営業利益はプロジェクトの予想原価修正や仕様変更・追加工事などに伴う追加金の交渉状況等によって左右されるが、期末に向かって増加する傾向。

年間業績の推移



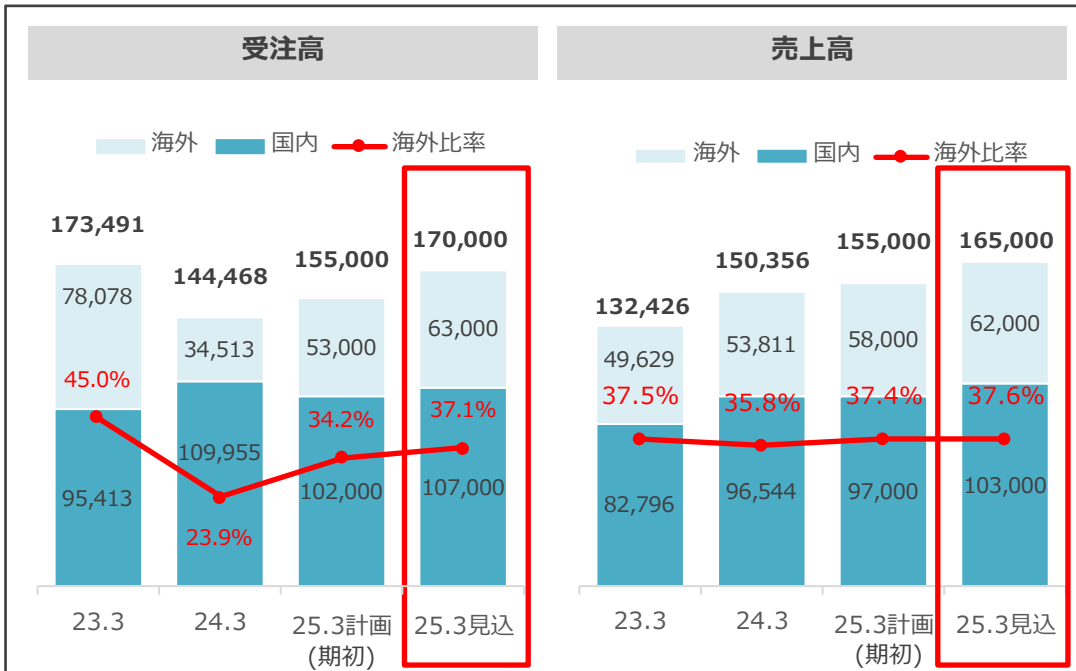
【年間業績の推移】

台湾などで半導体投資が活発化した2018年以降、業績が改善、活発な設備投資続き受注残高も高水準を維持。受注環境の改善によって選択受注が進み、付加価値の高い案件に注力できたことや、投資規模の拡大、原材料・工事価格の上昇を背景とした受注価格の上昇も採算性改善を後押し。

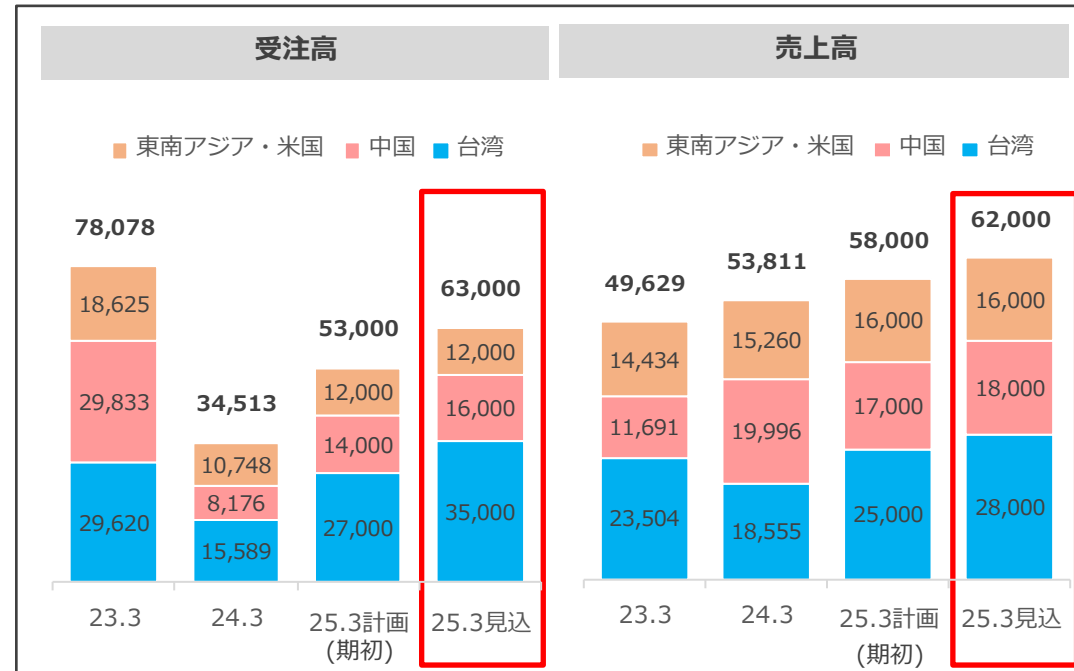
25.3期 通期見込：地域別受注高・売上高

(単位：百万円)

地域別受注高・売上高



海外地域別受注高・売上高



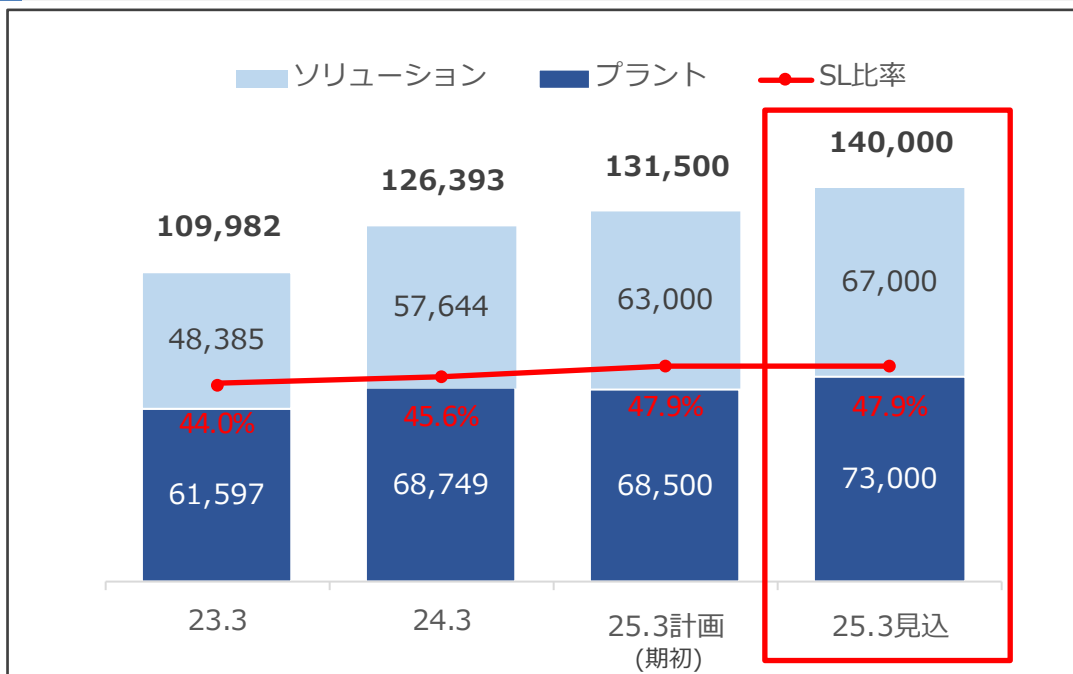
- 受注高は海外で台湾や中国など大型案件受注による拡大見込む。国内は下期に大型案件の受注を想定、ソリューション・機能商品も好調な推移を見込む。
- 売上高は大型案件受注によるプラントの増加や好調なソリューション・機能商品の推移など国内・海外とも伸長を想定。

- 受注高は台湾・中国において期初想定を上回る案件受注を見込む。東南アジア・米国は期初計画並を想定。
- 売上高はプラント案件の受注増が寄与し、台湾・中国が期初計画比で伸長する見通し。

25.3期 通期見込：事業セグメント別・部門別売上高

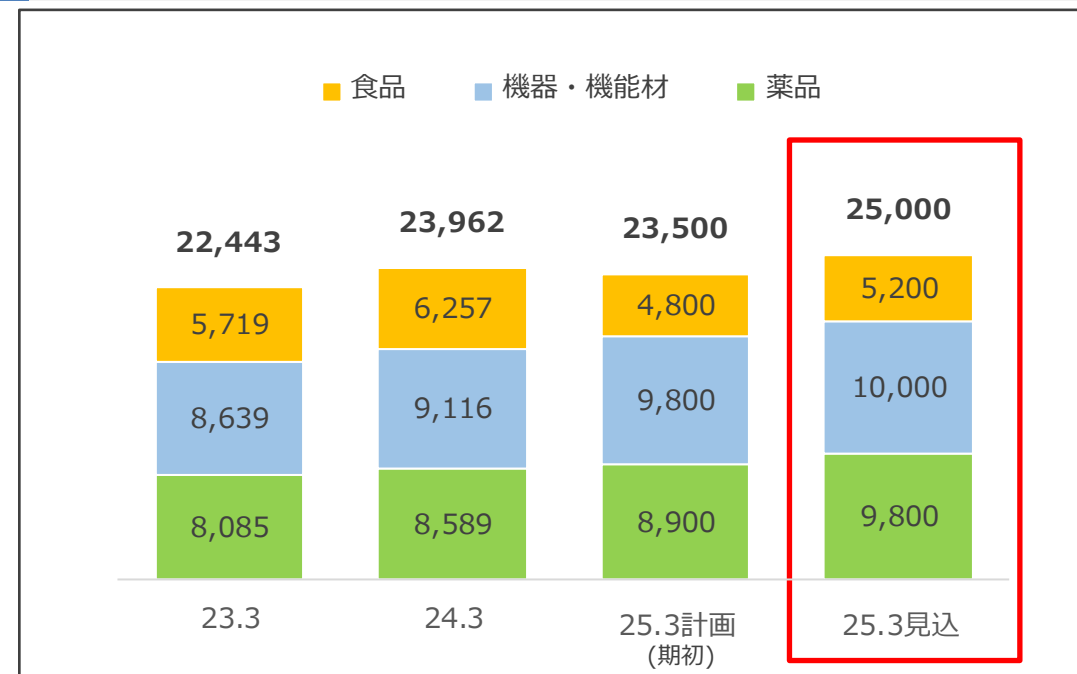
(単位：百万円)

水エンジニアリング事業：部門別売上高



- プラントは台湾・中国など海外の大型半導体プロジェクトを中心に拡大。国内でも高水準の投資が継続。
- ソリューションは設備保有型サービスの伸長や、納入設備に対するメンテナンスや消耗品交換、設備改造などが拡大。

機能商品事業：部門別売上高



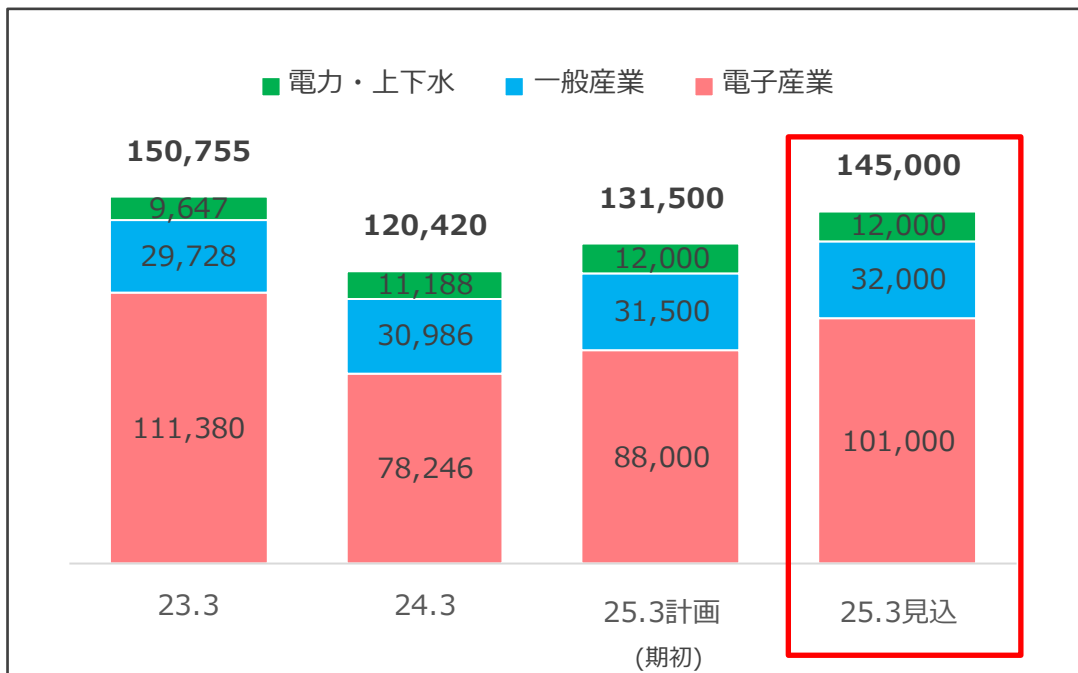
- 上期に続き電子産業分野向けの水処理薬品や、電子材料の高度分離・精製に用いられる機能材の伸長などを想定。小型機器やフィルタ、食品添加剤なども堅調な推移見込む。

※従来水エンジニアリング事業：ソリューション部門に集計されていた分離精製事業を機能商品事業：機器・機能材分野に集計、グラフは組替後

25.3期 通期見込：市場別受注高・売上高（水エンジニアリング事業）

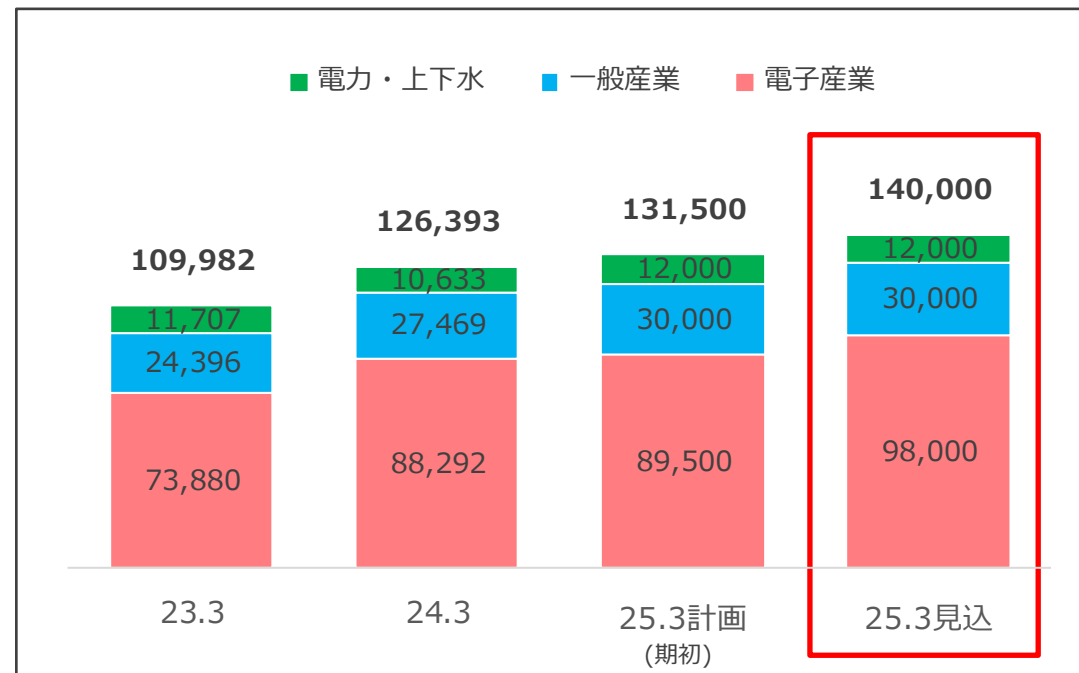
(単位：百万円)

市場別受注高



- 電子産業分野では、台湾や中国など海外での大型プラント案件の受注が拡大。ソリューションも好調に推移。
- 一般産業分野は医薬・電子周辺分野など順調に拡大。電力・上下水分野は原発など発電所関連のメンテなどを見込む。

市場別売上高

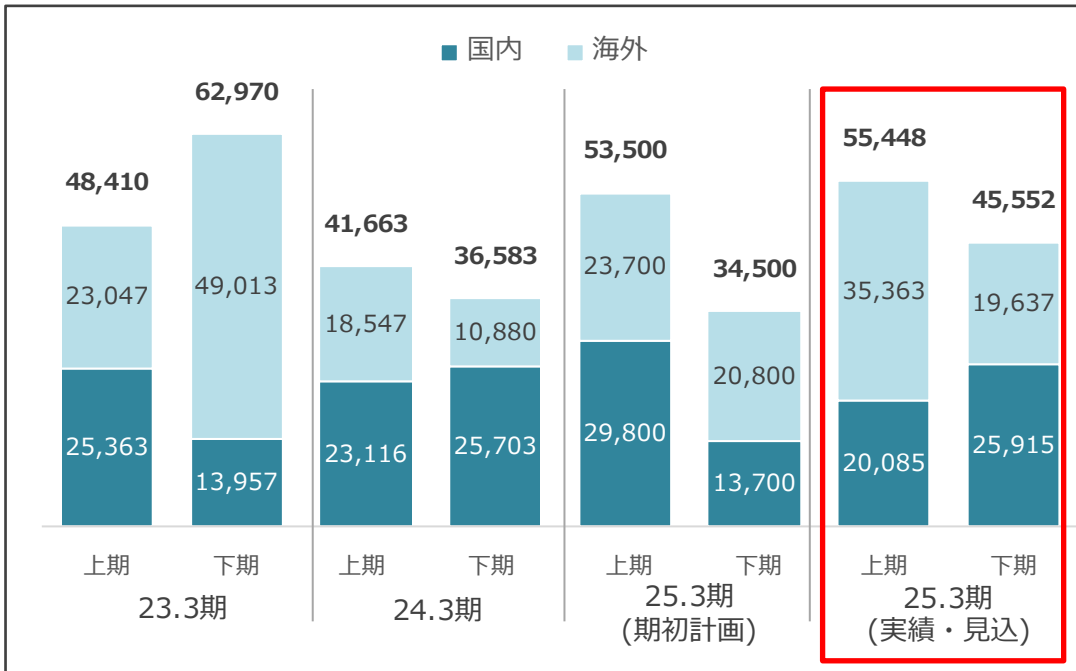


- 電子産業分野はプラント案件の工事進捗に加え、設備保有型サービスなどソリューションも拡大で伸長を想定。
- 一般産業分野は医薬・電子周辺などのプラント・ソリューション、電力・上下水分野は発電所関連のメンテなど見込む。

25.3期 通期見込：電子産業分野 受注高・売上高

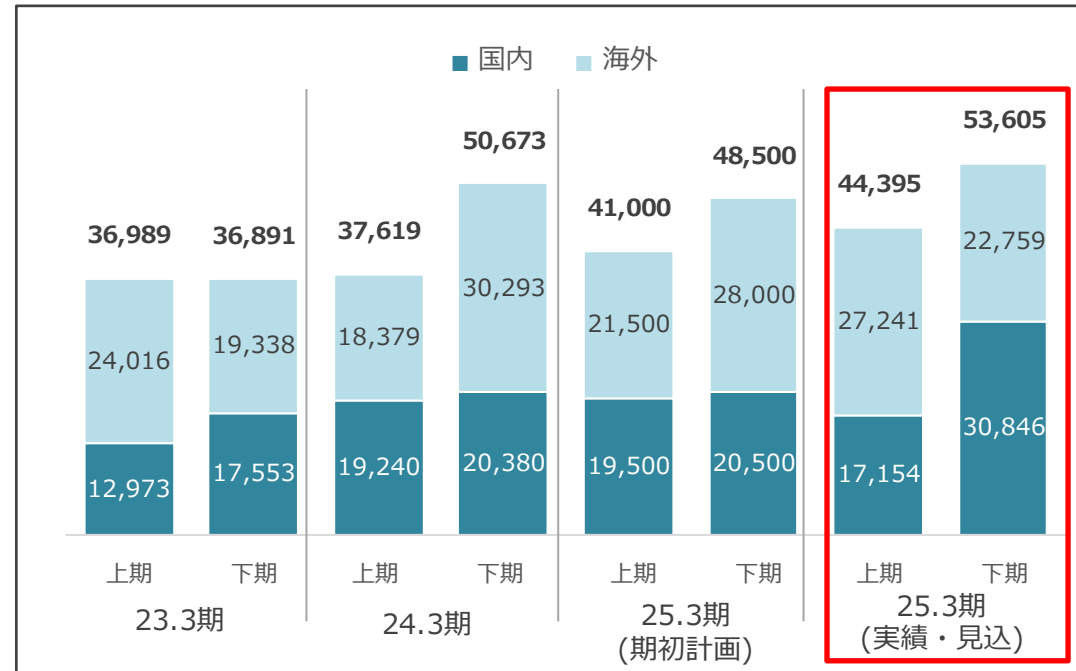
(単位：百万円)

電子産業分野：地域別受注高（半期推移）



- 上期は台湾・中国など海外でのプラント案件受注が計画を上回る水準で推移。国内は想定していた案件の期ズレが影響。
- 下期は海外が減少も引き続き高い水準の受注を想定。国内は上期に見込んでいた大型案件の受注を見込む。

電子産業分野：地域別売上高（半期推移）

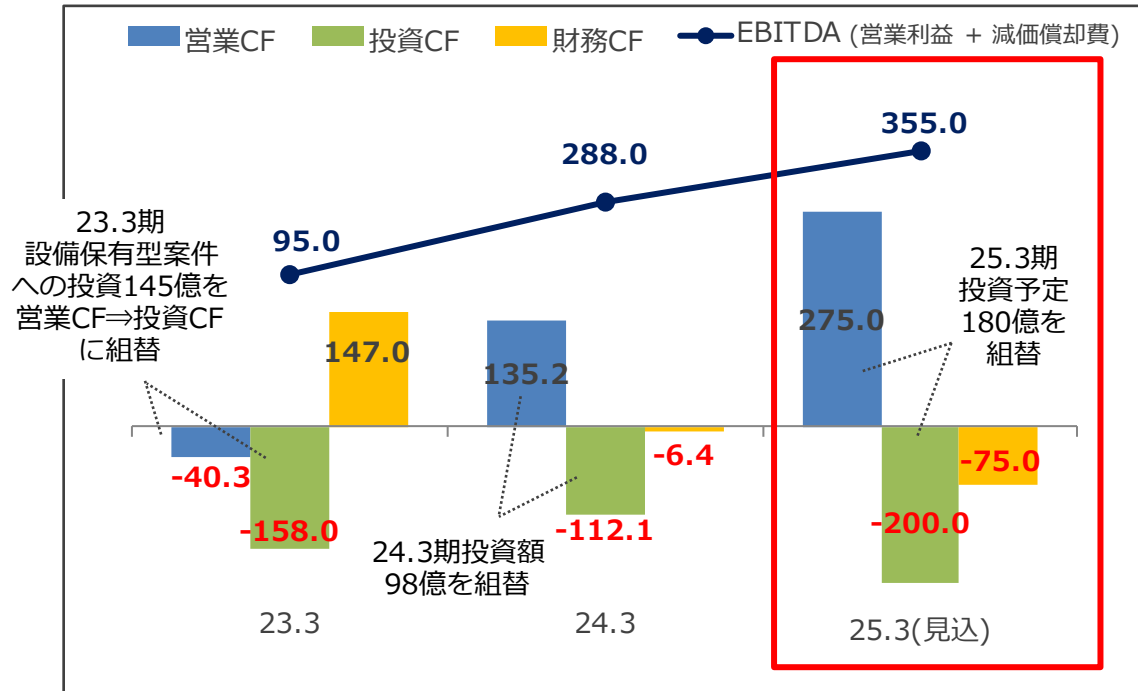


- 上期はプラント中心に台湾や中国など海外の売上高が伸長。国内ではプラントが計画未達もソリューション売上が拡大。
- 下期は海外で台湾の売上高が高水準で推移。国内はプラント案件の工事進捗やソリューション拡大などで伸長見込む。

25.3期 通期見込：キャッシュ・フローの動向

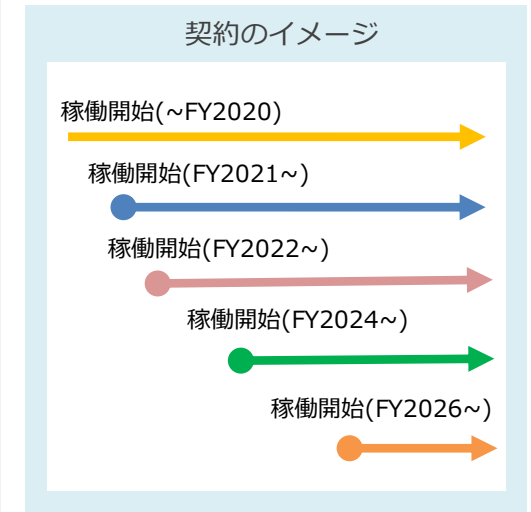
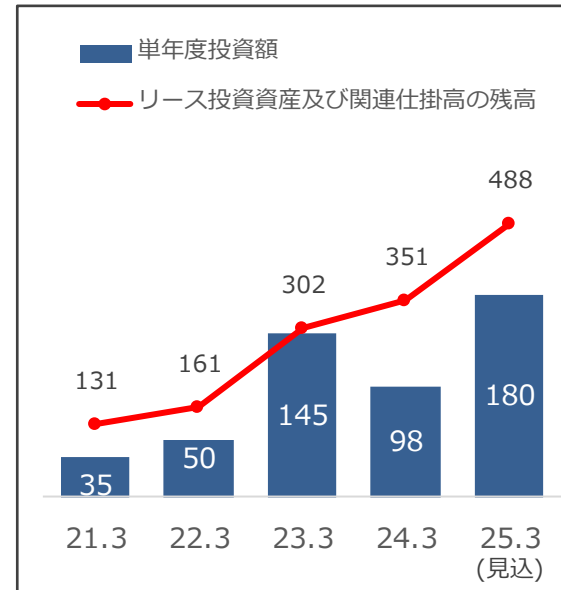
(単位：億円)

キャッシュ・フロー（組替後）の推移



- 当社のキャッシュ・フローは業績動向に加え、大型案件の工事進捗や代金の回収状況が増減に大きく影響
- 25.3期は前期までに売上計上した案件の代金回収により営業CFが改善。設備保有型投資も拡大進める

設備保有型サービスへの投資動向



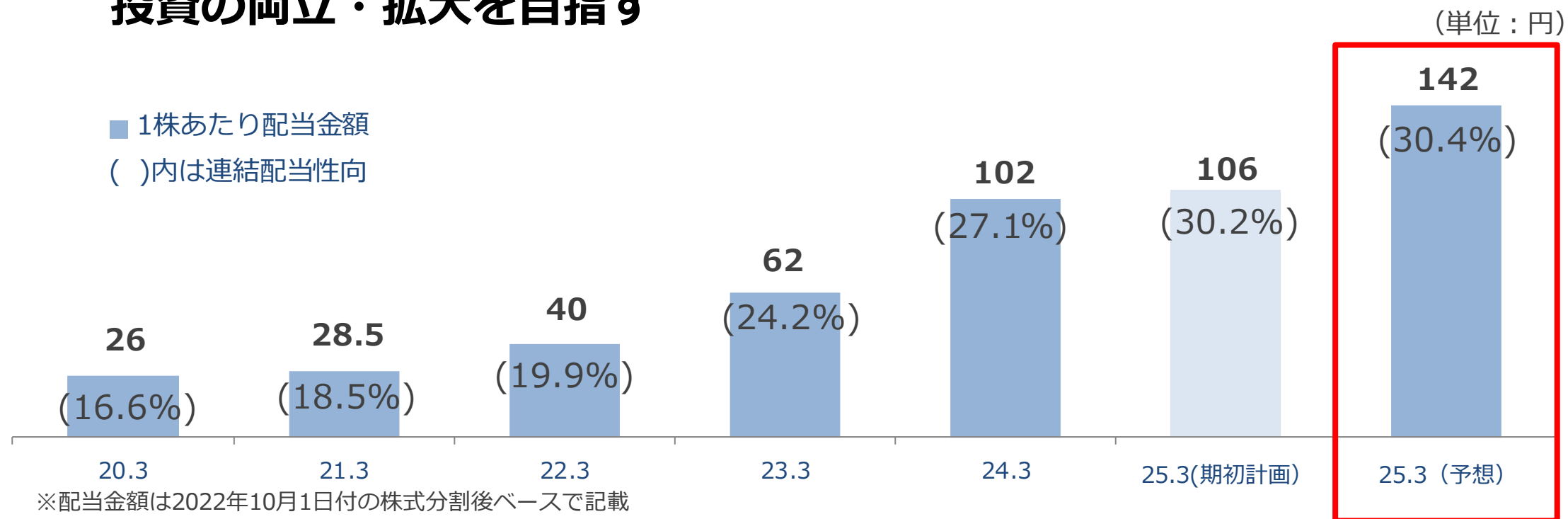
- 設備保有型サービスへの投資額はBSのリース投資資産（建設中は仕掛品）に計上され、契約期間に応じて減価償却を実施。流動資産に含まれるため、キャッシュ・フロー計算書では投資額を営業CFとして計上
- 左記のキャッシュ・フロー（組替後）グラフでは設備保有型サービスへの投資額を投資CFに組み替えて表示

25.3期 通期見込：主な指標

(単位：百万円)	24.3期	25.3期	
	通期実績	期初計画	見込
設備投資額	1,855	2,500	2,500
技術研究費	2,829	3,400	3,400
減価償却費	2,010	2,000	2,000
有利子負債	36,465	37,000	35,000
従業員数（人）	2,512	2,600	2,600

配当金の推移

- 2025年3月期は通期業績予想の改善に伴い、配当予想を増額修正
期初計画並の配当性向を維持し、年間配当金予想を142円に増額
- 配当性向30%以上と連続増配の継続を目標とし、株主還元と成長
投資の両立・拡大を目指す



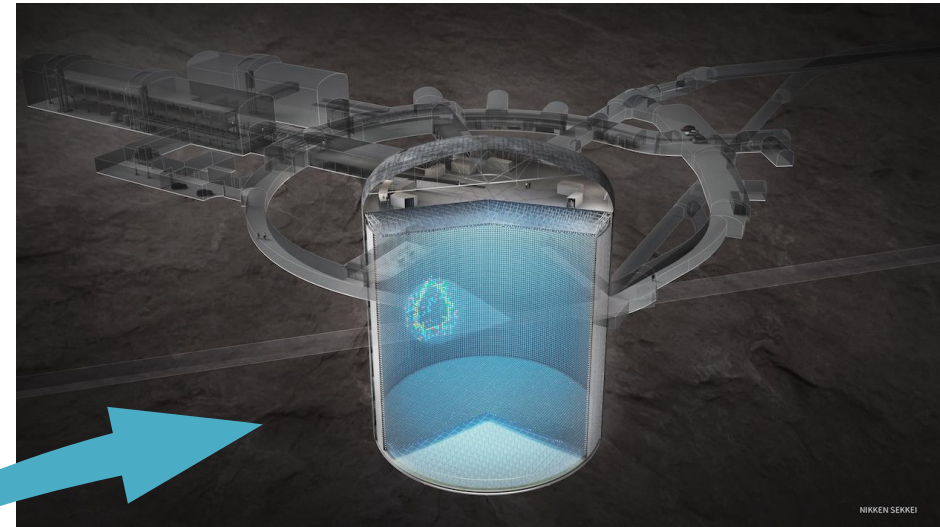
目次

1. 2025年3月期 上期実績
2. 2025年3月期 通期見込
3. TOPICS
4. 当社の概要・事業のご紹介

※資料中の数値は表示単位以下切り捨て、パーセンテージ及び前期・計画比較等は表示単位で計算。またパーセンテージは小数点第二位を四捨五入

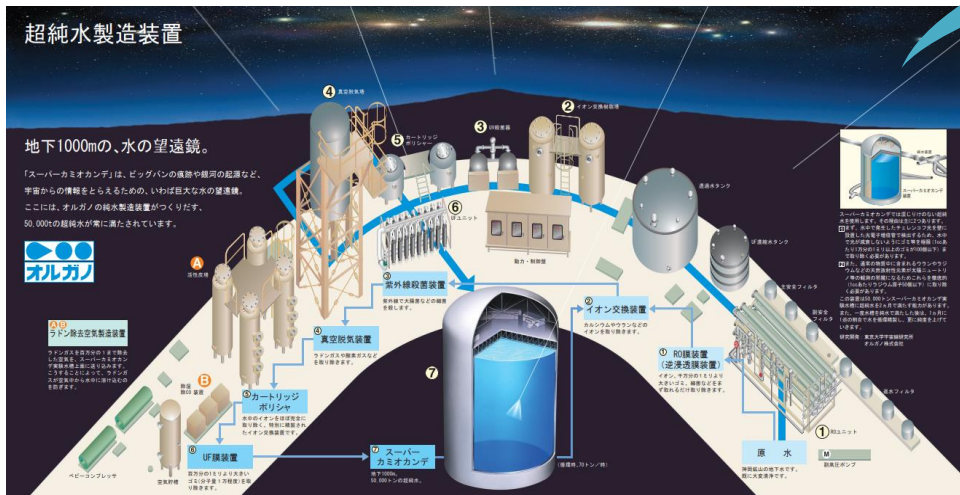
TOPICS : ハイパーカミオカンデ向け超純水製造装置を受注

オルガノはスーパーカミオカンデに続き、2027年に完成予定のハイパーカミオカンデ向けの超純水設備を受注（2024年6月）。当社の提供する設備から26万トンの超純水をハイパーカミオカンデに供給予定。



ハイパーカミオカンデ計画

画像提供：東京大学宇宙線研究所 神岡宇宙素粒子研究施設



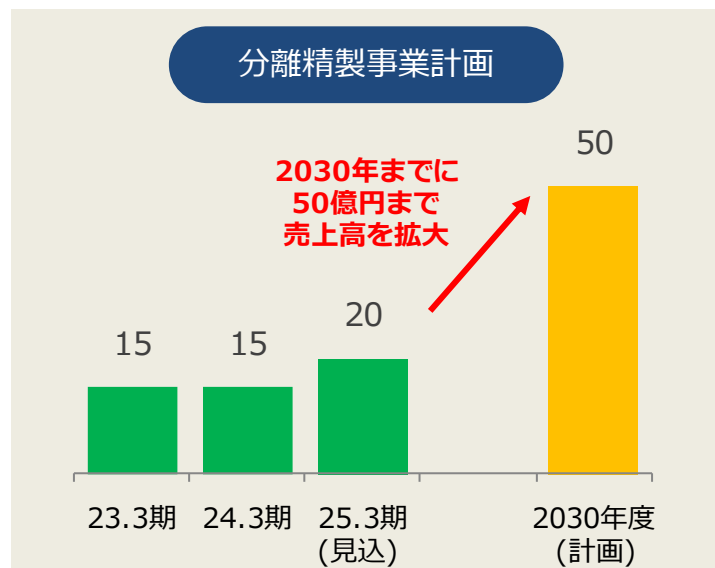
スーパーカミオカンデ向け装置概略構成

ニュートリノ研究では2002年に小柴昌俊先生が、2015年には梶田隆章先生がノーベル賞を受賞するなど世界をリード。ニュートリノ観測では、微弱なチェレンコフ光の正確な測定のために、当社の技術で水を極限まで磨き上げた「超純水」が用いられています。

TOPICS : 電子材料向けの高度分離精製事業が好調に推移

高度分離精製事業

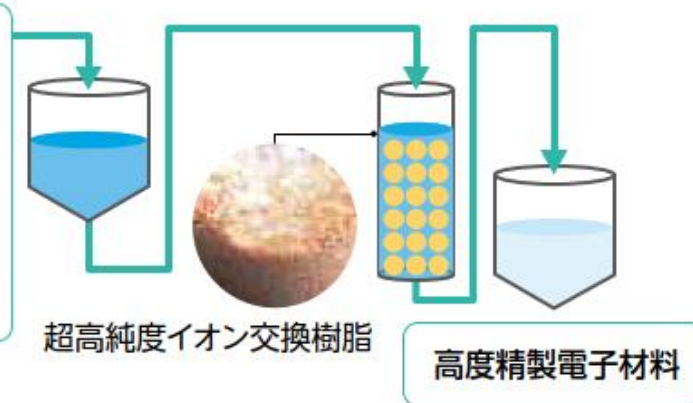
水処理で用いられる「イオン交換」や「ろ過」などの技術を半導体やリチウムイオンバッテリーの製造などに用いられる薬液・溶媒など水以外の液体の高度分離・精製・分析などに応用。2030年度までの長期計画では50億円まで売上を拡大する計画。



用途例

電子材料
有機系：
フォトレジスト、
溶媒など
無機系：
CMP 材料、
過酸化水素など

高度分離精製技術



半導体前工程で 使用の電子材料精製

レジストコーティング

露光・現像

エッチング

レジスト剥離

リチウムイオン 電池製造材料の回収

正極材料NMP
(N-メチルピロリドン)

目次

1. 2025年3月期 上期実績
2. 2025年3月期 通期見込
3. TOPICS
4. 当社の概要・事業のご紹介

※資料中の数値は表示単位以下切り捨て、パーセンテージ及び前期・計画比較等は表示単位で計算。またパーセンテージは小数点第二位を四捨五入

会社概要：経営理念とビジョン

■ 経営理念

オルガノは、水で培った先端技術を駆使して
未来をつくる産業と社会基盤の発展に貢献するパートナー企業としてあり続けます

■ 長期経営ビジョン

付加価値の高い分離精製・分析・製造技術を基に事業領域と展開地域を拡大し、
産業と社会の価値創造と課題解決を推進する製品・サービスを絶えず提供します

昨日までのやり方を、明日に向けて、今日変える人をつくり、
一人ひとりが働きがいと活力に満ちた企業を構築します

■ サステナビリティ方針

わたしたちオルガノは、ステークホルダーとともに、
未来に向けて持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指します



E 水で培った最適化技術*で、水環境保全や温暖化防止に
貢献する環境配慮型製品・サービスを提供します

S 人権および多様な価値観・個性を尊重し、従業員ひとり
一人が成長し活躍する職場づくりを推進します

G 全てのステークホルダーとの対話と連携を重視し、
誠実かつ公正な企業活動を遂行します

*水で培った最適化技術には、水処理に関わる分離・精製、分析技術やエンジニアリングにおける技術の追求と、
その組み合わせによって社会のニーズに合致した最適なシステムやサービスを提供するという意味が込められています



代表取締役社長 山田正幸

会社概要：大株主の状況・株主構成

大株主（上位10名）

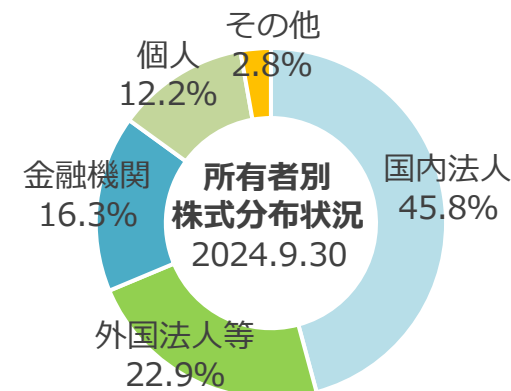
（2024年9月30日現在）

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
東ソー（株）	20,379	44.28
日本マスタートラスト信託銀行（株）（信託口）	3,727	8.10
（株）日本カストディ銀行（信託口）	1,911	4.15
KBC BANK NV – UCITS CLIENTS NON TREATY	690	1.50
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	526	1.14
野村信託銀行（株）（投信口）	520	1.13
（株）みずほ銀行	464	1.01
KIA FUND 147-TOKIO MARINE	427	0.93
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	388	0.84
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	384	0.83

※持株比率は自己株式(338千株)を控除して計算

株主構成

- 発行可能株式総数 101,568千株
- 発行済株式総数 46,359千株
(自己株式 338千株を含む)
- 株主数 11,728名



●親会社の状況

当社の親会社である東ソー（株）とは1955年に資本参加を受け入れて以来の関係にあります。当社と東ソーとの営業取引関係については、一部原材料の仕入や水処理設備・薬品等の販売取引がありますが、依存度は僅少であり、両者が扱っている製品や取引先の点でも明確な棲み分けがなされていることから、当社は上場会社として事業活動や経営判断において一定の経営の独立性が確保されていると認識しております。また、当社は親会社グループと少数株主間の利益相反問題を監視・監督するため、独立社外取締役のみで構成される特別委員会を設置するとともに、2023年6月開催の第78回定時株主総会以降、取締役会に占める独立社外取締役の比率を過半数にしております。

会社概要：オルガノの事業構成

水処理エンジニアリング事業

| プラント事業



純水・超純水設備
排水処理・回収設備
有価物回収設備
プロセス関連設備

| ソリューション事業



設備メンテナンス
運転管理・包括契約
設備増強・改造工事
水処理加工受託

| 事業別売上高



【ソリューション事業】

【プラント事業】

| 顧客分野別売上高



【電子産業】

【一般産業】 【電力・上下水】

機能商品事業

| 水処理薬品事業



排水・冷却水・洗浄・
RO膜・ボイラ等処理剤

| 標準型水処理機器・フィルタ事業



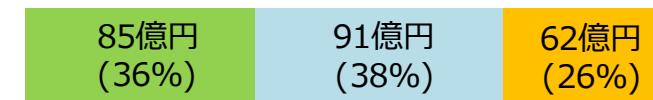
純水・超純水装置
浄水フィルタ

| 食品事業



食品添加剂・加工剤
食品素材

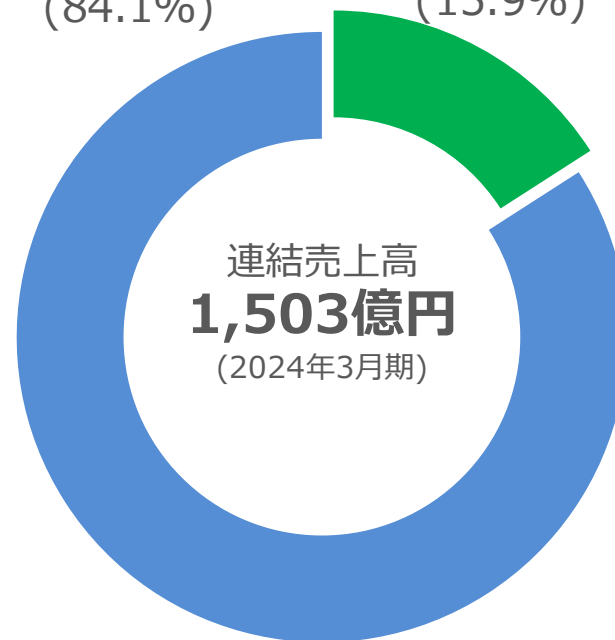
| 事業別売上高



【水処理薬品】 【機器・フィルタ】 【食品】

1,263億円
(84.1%)

239億円
(15.9%)



※金額は24.3期売上高、%は売上構成比率

会社概要：プラント・ソリューションの事業概要

プラント建設

ソリューションサービス



受注・売上の計上

- ・受注は契約時点で計上
- ・売上は工事の進捗率に応じて計上

設備規模

- ・水処理設備の一件あたり規模は数千万円～百億円超

施工期間

- ・大型設備の施工期間は12～24ヶ月程度

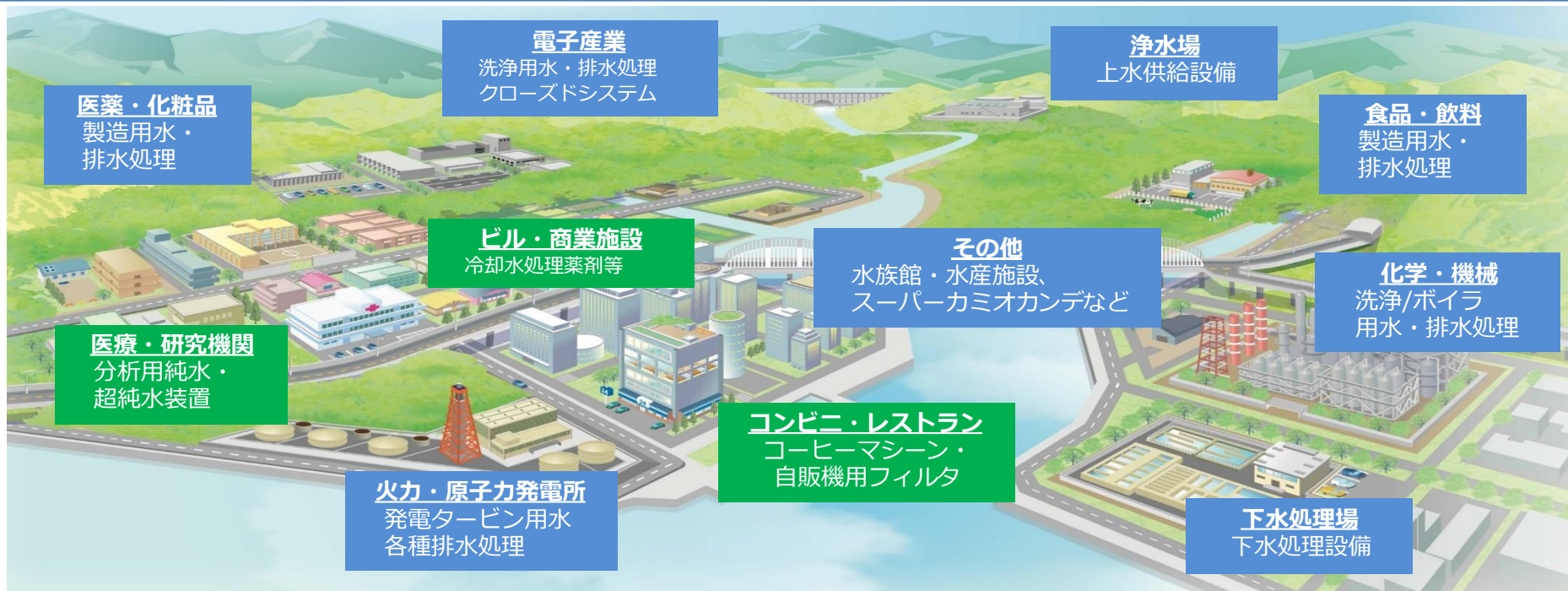
採算性の管理・動向

- ・一定の追加コストのリスク（コンテンジェンシーコスト）を工事予算に織り込んで管理
- ・採算性は市場の設備投資水準や原材料・工事などの価格動向にも影響

設備メンテナンス

- ・納入した設備に対するメンテナンスサービスはリピート率高い
- ・設備保有型のサービスや運転管理・包括メンテナンス契約などのソリューション事業を展開
- ・水処理薬品など機能商品の販売も

会社概要：生活と産業を支えるオルガノの水処理技術

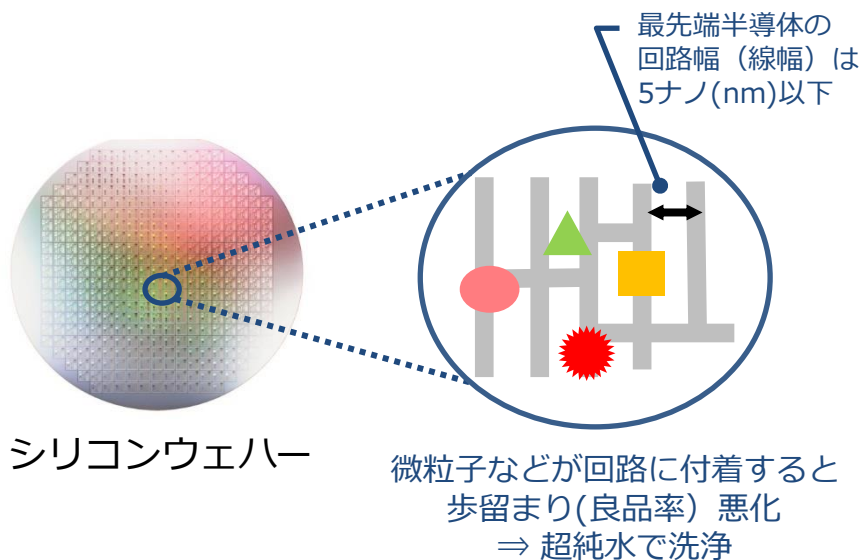


水処理エンジニア事業			機能商品事業		
電子産業 半導体・パネル・電子部品等	一般産業 医薬・化粧品、食品・飲料、機械・化学等	社会インフラ 火力・原子力発電所、上下水道	水処理薬品 各種製造業・ビル/商業施設	標準機器・フィルタ 医療・研究機関 コンビニ・レストラン	食品 食品/飲料・介護/健康食品

会社概要：半導体と水

多くの工程が必要な半導体製造プロセスのうち、3割程度を洗浄工程が占めると言われています。ウェハーの製造、成膜、エッチング、レジストなどの前後で繰り返し行われる洗浄プロセスに超純水が用いられています

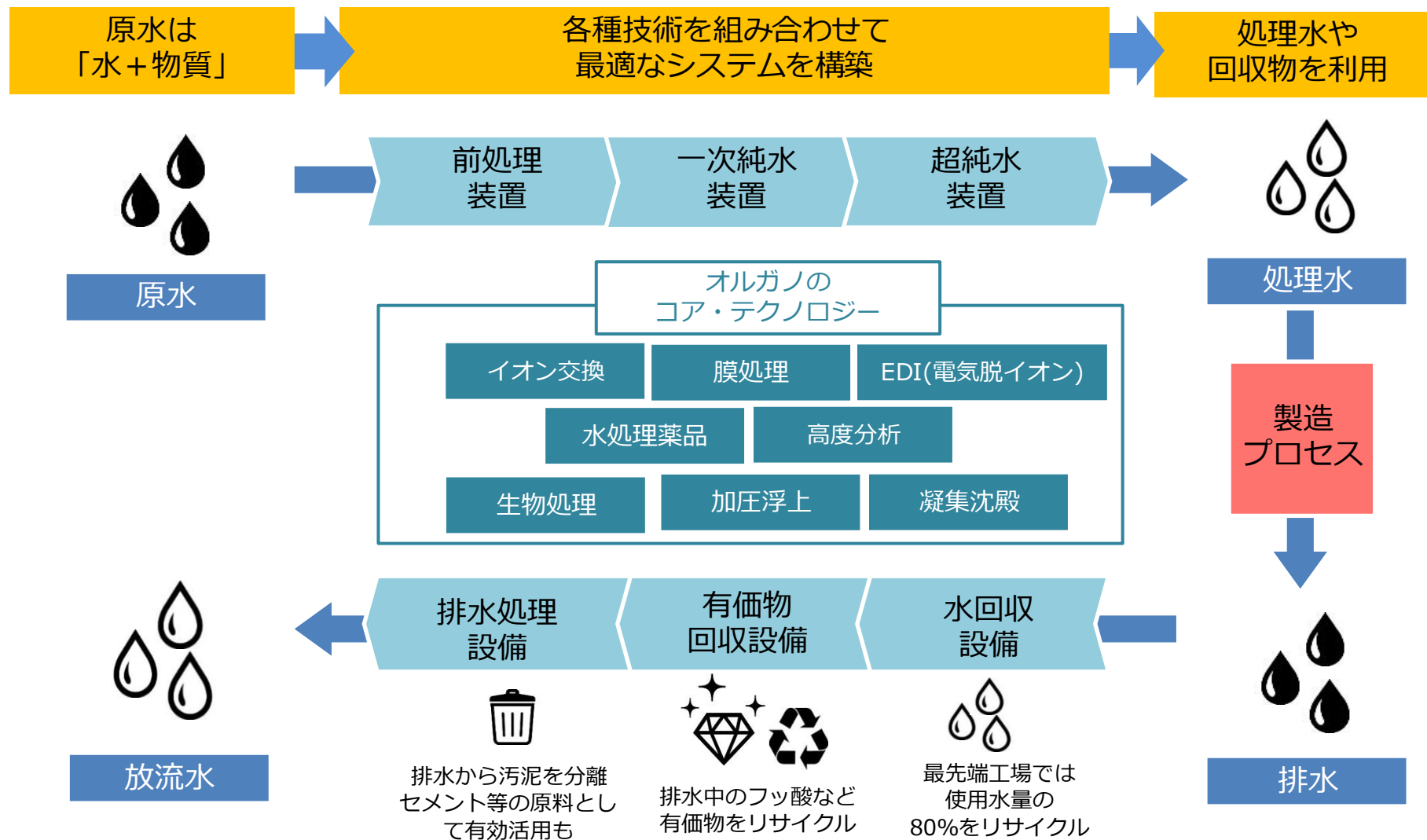
超純水で歩留まり改善に貢献



どこが	どれだけ	すぐれた技術力と価値
不純物濃度	1ppt以下	質量濃度は1兆分の1。オリンピック競泳50mプール(2,500m ³)の超純水に溶け込んだ不純物の量は僅か耳かき1さじ(2.5mg)分
製造水量	1000 Ton/時	大容量の高性能ポンプや大口径配管を使用。オリンピック競泳50mプール(2,500m ³)が2時間半で満杯に
水の回収率	80%	半導体工場では洗浄用水など大量の水を使用するが、最先端の工場では80%以上の水を回収し再利用。水のリサイクルだけでなく、排水中に含まれる有価物を回収する技術も活用

オルガノはウェハーやチップの洗浄に用いられる超純水の供給設備、洗浄や他の製造工程で生じる排水を無害化・廃棄物を低減するための処理設備、水のリサイクルシステム、排水からフッ素・レアメタルなどの有価物を回収・再資源化するシステムなどを提供しています

会社概要：電子産業向け水処理設備



会社概要：オルガノの歩み（売上高推移）

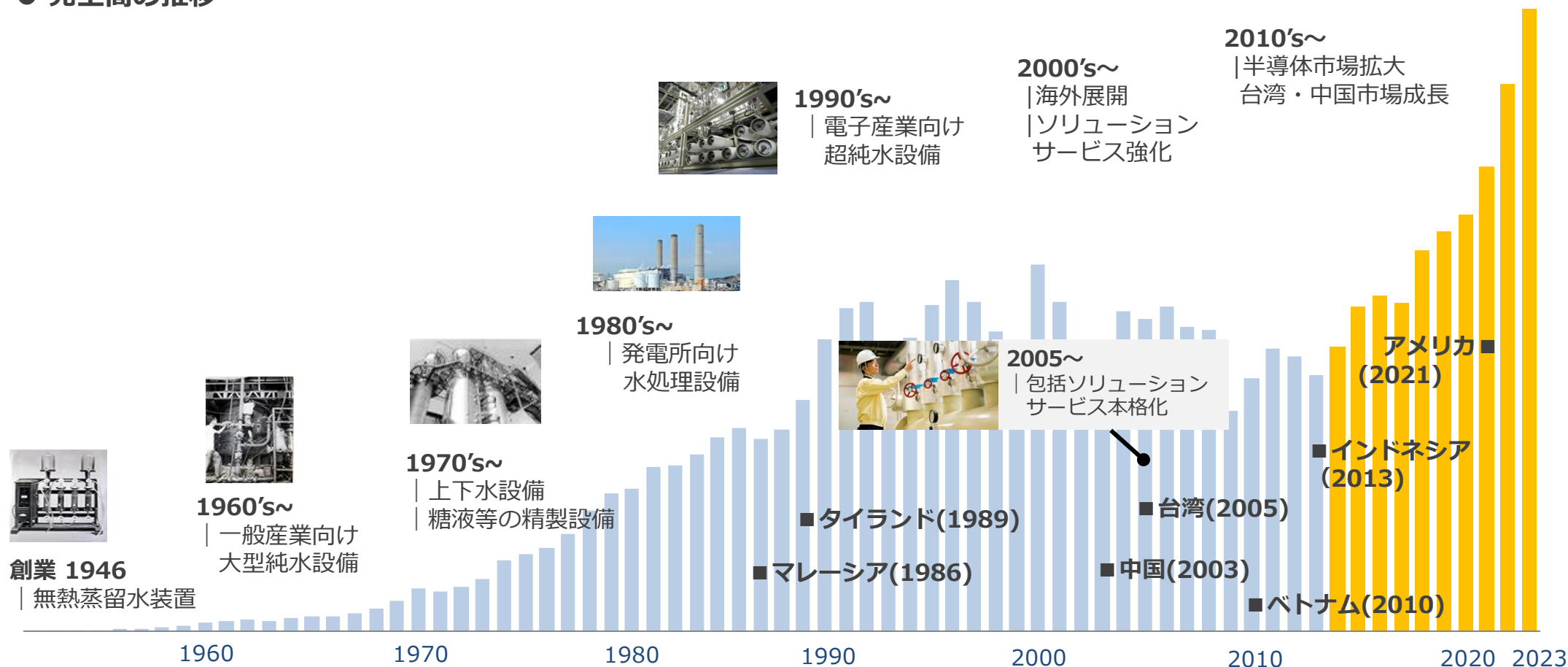
創業期

成長期

成熟期

飛躍期

● 売上高の推移



お問い合わせ先

ホームページ

<https://www.organo.co.jp>

お問い合わせフォーム

<https://www.organo.co.jp/contact/>

IRメールニュースのご登録

<https://www.organo.co.jp/ir/mail-news/>

NEW

オルガノグループレポート2024（統合報告書）をリリース致しました

https://www.organo.co.jp/ir/integrated_report/

本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。